

2017年10月29日放送

『**衝撃！未来テクノロジー 2030年世界はこう変わる**』が
2018年度 科学放送高柳賞・優秀賞を受賞。

衝撃！未来テクノロジー
2030年世界はこう変わる



2017年10月29日にBSテレビ東京(当時BSジャパン)で放送された『衝撃！未来テクノロジー 2030年世界はこう変わる』が、【第49回・2018年度 科学放送高柳賞・優秀賞】に選出されました。BSテレビ東京の番組として(BSジャパン時代も含めて)初の高柳賞受賞となりました。

科学放送高柳賞 とは

テレビ受信機や放送技術の完成における中心人物であり、“テレビの父”と呼ばれる高柳健次郎を記念して設立された公益財団法人高柳健次郎財団が創設。毎年、科学技術の普及や振興に寄与した優良番組が、その功績を称えて表彰される。

番組内容



日々進化を遂げる科学技術。我々の生活は将来、最先端技術によってどう変化していくのか？番組ではモビリティ（交通）、医療、AI（人工知能）といった技術の研究開発の現場を米西海岸や日本国内で取材、2030年に我々の生活がどう変わるかを大胆に予測する。

モビリティ分野では、米西海岸で電気自動車テスラのCEOイーロン・マスク氏が主導する未来型交通網のコンテストをレポート。真空チューブの中を時速1200キロで疾走するという構想に夢を抱く慶応大学のチームにも密着取材した。そのほか実現が視野に入った「空飛ぶクルマ」の最新事情も紹介した。

医療では日本のベンチャー企業が挑む最先端の筋電義手や、体内を巡って病気を治すナノマシンを取材。米国で進む遺伝子レベルのがん診断の実情も報告する。iPS細胞でノーベル賞を受賞した山中伸弥・京大教授をインタビュー、2030年の医療の現場を予測する。

創造・芸術の世界まで視野に入り始めたAIの活用では、いずれ到来するといわれる「AIが人間を超えるシンギュラリティ（技術的特異点）」の時代を見据え議論した。

【出演】

山中伸弥（京都大学 iPS 細胞研究所 所長・教授）
狼嘉彰（元宇宙開発事業団技術研究本部研究総監）
尾形哲也（早稲田大学理工学術院教授）

【司会進行】

塩田真弓（テレビ東京アナウンサー）
竹内薫（サイエンス作家）